



OMIKOSHI

わっしょい

台東ボランティア・地域活動サポートセンターでは地域で活動する団体を支援し、つながりづくりを行っています。

ふくし つながりフェスタを 開催します！

今年のテーマは「福祉×つながる×防災」
10月19日(日) 11時～15時30分 おかちまちパンダ広場にて

毎年ご好評いただいております
「ふくしつながりフェスタ」を今年度も開催いたします。
当センターの登録団体をはじめ、台東区内の福祉に関わる団体を中心に、
地域貢献でつながりのある企業など、20以上の団体が出展する予定です。
さらに今年度は、各参加団体の災害への取り組みを展示し、
通常時から防災への意識を高められるような
内容を企画しています。
皆さまのご来場をお待ちしています！



詳細はこちらから

「防災-BOSAI- しりとりワードパズル～問題だらけのぐるぐる迷宮～」

全出展団体を回り、シールを集めてパズルを完成させた方には、
3つの景品の中から1つの景品をプレゼント(数量限定)！
ぜひ、ご参加ください！

を開催予定！

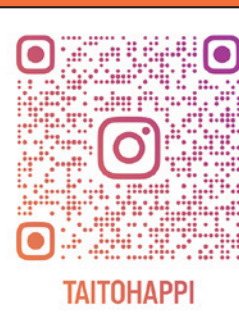
台東社協公式

Instagram更新中！

台東区社会福祉協議会の様々なイベントや講座の告知、
当日の様子などを発信中です！
社協のキャラクター「はっぴい」も時々登場するので、
ぜひ覗いてみてください！

#台東社協

検索



TAITO HAPPI

フォローやいいね、
コメントをお待ちしております！

「わっしょい」にこめられた思い

社会にはたくさんの方が山積みになっています。
私たちはその問題を前に尻込みしがちです。
一人では持ち上がらなくても、みんなで力を合わ
せれば持ち上がるかもしれません。
「わっしょい」と掛け声をかけ、みんなで持ち上
げてみたいものです。
そんな願いをこめて名付けた情報誌です。

台東ボランティア・地域活動サポートセンター情報誌
OMIKOSHI わっしょい 第77号
発行：2025年9月
発行者：社会福祉法人 台東区社会福祉協議会
台東ボランティア・地域活動サポートセンター
開所時間：8時30分～17時15分(土日祝・年末年始を除く)
TEL：03-3847-7065 FAX：03-3847-0190
E-mail：vc@taitoshakyo.com
URL：https://taito-sc.genki365.net/
(台東区地域活動支援サイト)



鳥蔵柳浅にインタビューをしました！

Q.鳥蔵柳浅について教えてください。

鳥越・蔵前・柳橋・浅草橋の頭文字を集めて「鳥蔵柳浅」とし、この地域を対象に町おこしをしています。私(代表：重岡氏)は関西から上京してきたのですが、知らない町で地域の方々にたくさん助けをいただきました。何か恩返しをしたいと考えたとき、このエリアにはあまり人に知られていない歴史的に面白いところがたくさんあるので、それを使って町おこしをしようと思い立ちました。新しく来た住民と元からいる住民の接点がないのが気になり、いろいろな企画を試行錯誤していましたが、ある日銀杏岡八幡神社の欄干さんと「朝市をやったら人が集まるかも」という話になりました。まずは顔を合わせて知り合いになるところから始め、次第に声をかけあえるようになれば、そこから更につながりが広がっていくのではと、神社の場所をお借りした朝市を昨年4月より1で開催しています。出店しているお店には地元の方もいるので、知り合いがお客さんとして遊びに来ますし、通りがかりの人も声をかけてくれるのが嬉しいです。



Q.活動の中で気になる事がありますか？

運営をほとんど一人でやっていて、広告・宣伝まで手が回らないので、一緒にやってくれる仲間がいると嬉しいです。SNSも更新できていないので、もっと活用して、ゆるく楽しい雰囲気が伝わると思うと思っています。あとは団体同士の交流の機会が少なく、バラバラで孤立している感じがもったいないと思っています。交流の場がなく、孤立して疲弊し、辞めていくパターンが多い気がしています。先日「ボランティア活動見本市」(城北ブロック社協の合同イベント)に参加しましたが、他団体の活動状況から学ぶ事が多く、何より皆様の頑張りを見て励みになったので、こういった他団体との交流の場が増えると良いと思っています。

Q.今後の活動の展開について教えてください。



参加しているお店の方々の満足度も高く「もっとやって欲しい」という声も多く届いているので、朝市とはまた別のイベントの開催を検討しています。人手の部分で限界はありますが、「楽しくやろう」が参加者みんなの合言葉なので、みんなに喜んで欲しいと思い色々考えています。でも一人で全部を考えている訳ではなく、「おかげさまで7～9月開催の夜市」は副代表ともう一人が考えてくれた案ですし、他の団体の方と仲良くなった縁で進んだ企画もあります。「楽しそうだから」とキャラクターをデザインしてくれた方、ポスターやチラシを作ってくれた方もいて、今後も皆でワイワイ楽しみながらやっていけたらと思っています。

お問い合わせ先：鳥蔵柳浅

TEL：080-6746-2636 Mail：shigeoka.taku@gmail.com

HP▶



X▶



専門職による個別無料相談の実施をしています！

NPO・地域で活動する方々のための 専門相談

こんなお悩みありませんか??

- 社員が安心して働けるよう、労働保険や社会保険などの制度を上手に活用したい
- 社員・業務委託・ボランティアなどの契約形態を整理したい
- 社員の社会性を育みつつ、お金も循環するような制度をつくりたい
- 「ルールで縛る」ではなく、自由度が高く創造的な職場を実現したい

NPOやグループ活動の運営に詳しい弁護士、公認会計士、税理士、社会保険労務士に日頃の団体運営に関わる悩みや困りごとを無料で相談できます。

- 1 対象：所在地が台東区にある、または区内で活動している方々や非営利団体
- 2 費用：無料
- 3 相談方法：原則、オンライン(ZOOM)での相談です。
対面をご希望の方は、事前にお問い合わせください。
- 4 各日とも 14時～/15時～ 50分間
- 5 予約の締切りは各日の1週間前
- 6 専門相談をご希望の方は以下のURL、右記のQRコード、
またはお電話でお申込みください。
<https://taitoshakyo.com/news/cate04/event-20240802120759>



法律相談	労務相談	会計・税務相談
10月23日(木)	10月21日(火)	10月22日(水)
11月12日(水)	11月18日(火)	11月13日(木)
12月16日(火)	12月 9日(火)	12月11日(木)
1月22日(木)	1月20日(火)	1月 21日(水)
2月19日(木)	2月17日(火)	2月18日(水)
3月11日(水)	3月10日(火)	3月17日(火)

後期の労務相談を担当する

矢萩先生 にインタビューをしました！



社会保険労務士を目指したきっかけは何ですか？

社会保険労務士は健康保険、厚生年金等の手続きをしたり、会社の社内文書を作成したりする仕事です。団体や法人を運営していくのに必要なヒト・モノ・カネ・情報の4つの中の「ヒト」の部分について扱う国家資格です。自分がサラリーマンだった時代に、「働く」ということがより「豊か」にならないのだろうか、という疑問を抱いたことがありました。その経験から社会保険労務士という資格を取得して、「働く」に「寄り添う」という想いを持って日々相談を受けています。

なぜ、台東区に事務所を設置しているのですか？

元々は横浜に事務所を設置しておりましたが、自分の師匠が台東区で一番大きい事務所を構えておりそこで修行をしたことがきっかけでそのまま台東区で独立しました。師匠からも「台東区は素晴らしい街であり住みやすい」と聞いたこともきっかけの一つです。

相談を受ける際に大切にしていることは何ですか？

団体の皆さんには「はたらく豊かさ」を大切にしてほしいと思いながら、相談を受けています。私は、「コミュニティ経営のすすめ」という本を出版しており、コミュニティを「身体性を感じるつながりの場」と定義しています。例えば、Aさんが職場・団体に所属していて心身ともに豊かだと感じていても、Bさんが頭ではそう理解していても体でそう感じていなければ、それはコミュニティとならないのです。一人ひとりが豊かさや幸せを感じられるような場を作っていくにはどうすればよいのか、という部分を大切にしながら相談を受けています。

趣味・ハマっていることはありますか？

“農・食・アートを通して地域をつなぐ”と掲げ、現在「よみがえれ！浅草田圃プロジェクト」という取り組みを行っています。秋葉神社さんの境内で、地域のご家族と稲やお野菜を育てており、今年から岩倉高校でのスクールファームプロジェクトも始まり、地域のつながりの醸成を感じています。
また、「アート定款」という取り組みも行っています。「アート定款」は、自分たちがどんな地域社会を描いてこの団体を立ち上げたのか、どんな関係性を大切にしたいのか、団体の基礎になる部分を、文字だけでなく体で感じ取れるようにアートで表現したものです。文字だけでは抜け落ちてしまうものをアートを取り入れ表現することで、職員や新しい会員にも思いが自然と伝わり、健全な事業運営へと繋がっていくように思います。

職員の感想

実際にお話しさせていただくと、やわらかい雰囲気があり、親身に団体の相談を受けてくださる先生だなと感じました！